

## コース概要

コース名	コース構成	概要	対象者
0 1 製造業業務概要コース	1. いろいろな製造業 2. 製造業の基本課題 3. いろいろな生産形態 4. 製造業の基幹業務	製造業は日本経済を支える基幹産業と言われてます。 当コースでは、日本の製造業を「国内産業での位置付け」「置かれている環境や課題」「いろいろな生産の形態とその特徴」「基幹業務の流れと機能体系」など様々な視点から考察しつつ製造業の現状を理解し、以降の基幹業務別コースの知識基盤とすべく学習します。	SI会社やコンサルティング会社の 新入社員 及び製造業のお客様を担 当する 実務経験 2年から5年の 営 業、S/E、コンサルタント及び製 造業社員
0 2 開発・設計コース	1. 開発・設計の位置付け 2. 開発・設計業務 3. 開発・設計の上流工程 4. 開発・設計の目標と対応策 5. 対応策の内容と要件	研究・開発なしでは企業は存続できないと言われてます。 当コースでは、製品が世に出るまでの様々なプロセスの中から、開発・設計プロセスに焦点を 当て、それらを遂行する上での課題や解決策を理解し経営、販売、保守とのつながりや生産活 動との関連などについても学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2 年から5年の 営業、S/E、コンサ ルタント及び製造業社員
0 3 基準情報管理コース	1. 基準情報とは 2. 部品表 (BOM) 3. 品目マスター 4. 製造工程表と設備台帳 5. その他の基準情報	製造業の基準情報をご存知でしょうか？製造業固有の基準情報には部品表 (BOM) や品目マ スター、製造工程表などがあります。 当コースでは、部品表を中心に演習を交えながら製造業の基準情報の基礎を学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
0 4 生販在計画コース	1. 生販在計画の位置付け 2. 需要予測 3. 販売計画 4. 生販在計画 (PSI 計画) 5. 生産計画と基準生産計画 6. 生販在計画の機能	生販在計画で重視すべきは、「売れる数量」「作れる数量」に基づく計画を作成することです。当 コースでは、製造業の主要計画である販売計画、在庫計画、生産計画、基準生産計画の4つの 計画の関係とその役割について学習します。	SI会社やコンサルティング 会社で 製造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
0 5 MRP と製番管理コース	1. MRP の位置付け 2. MRP とは 3. MRP 利用の業務領域 4. MRP の主要項目 5. MRP の計算手順 6. MRP と製番管理	MRPは生産管理の要です。MRPを理解すると生産管理全体がよく判るようになります。 当コースでは、基準生産計画に合わせて必要な部品や材料を必要な時に必要なだけ確保するた めの仕組みについて学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
0 6 購買管理コース	1. 購買管理の位置付け 2. 購買管理の役割 3. 購買活動 4. 購買活動を支える仕組み 5. 購買関連の課題 6. 購買管理の機能	購買管理は会社の利益に直結する重要な業務です。 当コースでは、部品や材料、サービスなどの調達業務の基本的な仕組みや、さらに競争力向上 に向けて果たすべき役割や活動などについて学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
0 7 工程管理コース	1. 工程管理の概要 2. 製造指示と進捗管理 3. かんばん方式 4. 工程管理の機能	日本のものづくりのキーワードである「トヨタかんばん方式」「セル生産方式」という言葉を 耳にしたことがありますか？ 当コースでは、部品や製品などの製造の仕組みやその要点、代表的な生産方式である「Push 型生産方式」と「Pull 型生産方式」の違いを演習を交えながら学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当 する実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
0 8 品質管理コース	1. 品質管理の位置付け 2. 品質管理の基本 3. 品質保証 4. 品質改善活動 5. 国際標準化機構	Made in Japanという言葉が一時世界を席巻しました。日本が世界に誇る品質はどのように 生み出されるのでしょうか？ 当コースでは、「日本の品質管理の変遷」「品質管理の基本的な考え方や手法」「品質保証 体制」「品質改善活動」など、品質管理を様々な角度から幅広く学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
0 9 物流管理コース	1. 製造業における物流について 2. 物流企画・物流設計 3. 物流実務 4. 物流技術・包装設計業務 5. 物流システム開発	物流無しでは経済活動は成り立ちません。「物流を制するものがSCMを制する」といっても 過言ではありません。 当コースでは、「物流全般」と物流をより深く知る為に物流業務を「物流企画・物流設計」 「物流技術・包装設計」「物流実務」「物流システム」の4つに分けて考察し物流の基本を学 習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
1 0 在庫管理コース	1. 在庫管理の位置付け 2. 在庫管理とは 3. 在庫精度向上活動 4. 在庫目標の設定と削減活動 5. 在庫管理の機能	在庫無しではものづくりは出来ません。しかし、在庫の持ち過ぎは経営を圧迫し、不良在庫で 経営が傾くこともあります。 当コースでは、「在庫とは？」「在庫の功罪」「在庫の適正化」などの視点で在庫を考察し 在庫の本質と在庫管理の重要性を学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
1 1 原価管理コース	1. 原価管理の位置付け 2. 製造原価の基本 3. 原価管理 4. 原価計算 5. 原価計算の種類 6. 原価差異分析 7. 原価低減活動 8. 製造原価の応用例 9. 原価管理の機能	製造業にとって原価管理は大変重要な業務の一つです。原価計算はもちろん、原価の要素を知 ることで様々な経営判断が効率よく行えるようになります。 当コースでは、「製造原価」「原価計算」「原価の種類」「原価分析」「原価低減活動」など の視点で原価をどう原価管理の基本を学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
1 2 製造業の情報システムコース	1. 製造業の情報システム 2. 発展の歴史 3. 製造業の固有システム 4. 製造業のIoTの動向と今後の方向	情報システムは通信技術と相まって「ICT」と呼ばれており、製造業においても重要な役割を 担っています。さらに近年「IoT」が大きな話題となってきました。 当コースでは、製造業での情報システムの利用分野や、その分野での利用方法、投資効果など を考察し、製造業における情報システムの活用法や近年大きな話題となっているIoTについ ても学習します	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
1 3 プロセス型製造業の特徴コース ※日本語版のみ対応	1. プロセス産業の概要 2. プロセス型生産の特徴 3. 設備保全と情報システム	当製造業業務研修シリーズは組立型製造業の仕組みを中心に話を進めています。プロセス型製 造業も基本は組立型製造業と同じですが一方でプロセス型製造業にしか見られない仕組みも数 多く存在します。当コースでは、「プロセス型製造業の概要」「プロセス型製造業独自の仕組 み」「設備保全」「プロセス産業の情報システム」などを組立型製造業と比較しながらプロセ ス型製造業の特徴を学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員
1 4 保守サービスと保守部品管理コース ※日本語版のみ対応	1. 保守サービスとは？ 2. 保守部品管理の仕組み 3. 保守部品管理の課題と改善策 4. 保守サービスのあり方と改善策	どんなに高品質の製品でも故障やトラブルは生じます。これに適宜適切に、そしてスピー ディーに対応しないとお客様の信頼を無くします。保守サービスで大切なことはお客様第一を 実現する仕組みと心構えです。 当コースでは、保守サービスと保守部品管理の基本に加え、大満足の顧客サービスを実現する 仕組みと心構えについても学習します。	SI会社やコンサルティング会社で製 造業のお客様を担当する 実務経験 2年から5年の 営業、S/E、コン サルタント及び製造業社員

各コースの章の最後の理解度テストとコースの最後に実力テストがあり、ご自身で当コースの理解度が確認できます。誤解答の設問については納得行くまで何回でもさかのぼって受講することが可能です。